

# JPM Network

2024 Vol.134

## 第54回 JPM SHOW 2025 特集



# It's showtime!!

## Topics

日本プロモーション・マーケティングショー

第54回 JPM SHOWは、進化したか? 4つのポイントを紹介

1. NEXTセミナーの実施
2. CXエリア、DXエリア、PACエリアの新設
3. 一本化された「日本プロモーション・マーケティングアワード」
4. JPM次世代チャレンジコンテスト

見どころを  
教えマウス



Tsunagari Mouse

# 第54回 日本プロモーション・ マーケティングショー 2025

JAPAN PROMOTIONAL MARKETING SHOW 2025

2025 **12.11** (木) - **12.12** (金) 会場 東京都立  
産業貿易センター浜松町館

売り場・買い場・魅せ場 集え! 日本のプロモーション・マーケター  
東京で体験する最新のインスタマーケティング



## JPM SHOW 2025

Japan Promotional Marketing Awards

Promotion Planning  
Awards

In-Store Marketing  
Awards

「JPM SHOW2025」が12月11日(木)と12日(金)の二日間にわたり、東京都立産業貿易センター浜松町館の4階で開催される。

昨年から「日本プロモーション・マーケティング協会展」の名称が、「日本プロモーション・マーケティングショー」に変更になった。これは、JPM協会のイベントから業界全体を代表するイベント「日本最高峰のプロモーションの総合展」への転換を図ったことによる。

そして、JPM協会の改革元年と位置付けられた今年、さらなる進化を図っているという。さてどんな進化を遂げたのか。今回編集部からは、4つのポイントを提示したい。是非その目で確かめて欲しい。



「プロモーションの現在と未来」を体験する場

## JPM SHOWは、進化したか？

第54回日本プロモーション・マーケティングショー 2025

## 4つのポイントを紹介

### ○ 進化ポイント1

NEXTセミナーの実施→詳しくは3ページから

### ○ 進化ポイント2

CXエリア、DXエリア、PACエリアの新設→詳しくは5ページで

### ○ 進化ポイント3

一本化された「日本プロモーション・マーケティングアワード」  
作品と企画の紹介→詳しくは6ページで

### ○ 進化ポイント4

JPM次世代チャレンジコンテストのプレゼンテーションの実施  
→詳しくは8ページで

詳しく紹介し  
マウス!



### 4つの会場で9つの展開

JPMショー2025は、4階フロアの展示室と3つの会議室を使って行われる。会場ごとの内容は以下の通りだ。

#### <展示室>

- JPMアワード～インスタマーケティング部門～全作品展示
- 次世代チャレンジコンテスト2025～クリエイティブ部門～最終ノミネート作品展示
- PACエリア(パッケージ)作品展示ブース

- CXエリア(旧販促見本市)紹介ブース
- DXエリア(デジタル販促)紹介ブース
- PRコミュニケーションエリア

#### <第1会議室>

- JPMアワード～プロモーションプランニング部門～優秀企画展示

#### <第2会議室> ※12月11日(木)のみ

- JPM 次世代チャレンジコンテンツ2025 (2部門のファイナリストによる最終プレゼンテーション)

#### <第3会議室>

- NEXTセミナー

## 進化ポイント1



### NEXTセミナー

会場 4階 第3会議室

SEMINAR

プロモーション領域に関わるトップランナー達が、  
現在と未来を語る2日間。

11日(木)は、多様な流通の現在と未来のプロモーションを知る一日。12日(金)は、様々なプロモーションにおけるクリエイティブシーンの創造を知る一日。9つのセミナーに15人のトップランナーが登場する。様々な専門性と経験に培われた事例の紹介や提言に期待したい。業務に活かせる発想やヒントも得られるかも。

## 2025年12月11日(木)

### セブン・イレブン・ジャパンが考える、リアルとデジタルの融合によるリテールメディアがもたらす新しい未来(仮)



杉浦 克樹氏  
株式会社セブン・イレブン・ジャパン  
新規事業推進室  
総括マネジャー



稲森 学氏  
株式会社アドインテ  
取締役副社長兼COO



平内 庸介氏  
<モデレーター>大日本印刷  
株式会社情報イノベーション  
事業部ハイブリッドマーケ  
ティングセンターデジタル  
マーケティング本部メディア  
ビジネス開発部部長

店舗のDX化(ストアDX)やCX(顧客体験)改善に取り組む、大日本印刷の平内庸介氏がモデレーター。セブン・イレブン・ジャパン新規事業推進室総括マネジャーの杉浦克樹氏と、アドインテでDX推進事業部とセールス部門を統括する副社長兼COOの稲森学氏と共に語る。詳細は現在検討中のような。

## 11:00~12:00

### ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 審査の裏側とこれからのプロモーション・マーケティング



松村 真依子氏  
日産自動車株式会社  
日本マーケティング本部  
ブランド&コミュニケーション  
戦略シニアマネージャー



萩原 幸也氏  
株式会社リクルート  
マーケティング室部長/CD



中川 悠氏  
株式会社博報堂  
クリエイティブ局  
エグゼクティブ  
クリエイティブディレクター

日産自動車の松村真依子氏、リクルート萩原幸也氏、博報堂中川悠氏が登場。優れたクリエイティブを表彰する日本最大級のアワードの審査過程で、審査委員が何を重視し、どういった議論が交わされたのか、舞台裏の話が聞けるという。また受賞作品からその背景にある消費者インサイトやコミュニケーション戦略を紐解いてもらえるそうだ。「変化する市場のなかで、次の一手を打つためのヒントを提供したい」とのこと。楽しみだ。

## 12:30~13:30

### 世界の小売最前線と購買体験 ~6カ国のリアル事例と未来への示唆~ アメリカ・インド・サウジアラビア・ドバイ・ シンガポール・台湾



郡司 昇氏  
店舗のICT活用研究所代表

店舗のICT活用研究所代表、郡司昇氏の講演。

約1年でアメリカ、インド、サウジアラビア、ドバイ、シンガポール、台湾の6ヶ国、約200店舗を視察した郡司氏。学びの多い店舗や企業の事例を取り上げて、日本の小売業の未来を考えるきっかけを与えてくれるそうだ。

## 14:00~15:00

### 地域を支える新しい店舗のかたち： KDDIの社会実装



久木 浩樹氏  
KDDI株式会社  
パーソナル事業本部  
パートナーコース本部長(執行役員)

KDDIの久木浩樹氏による講演。「通信×リテール」の融合により、地域課題の解決と新しい店舗の社会実装に挑戦するKDDI。

KDDIが運営するコンビニでのリモート接客や各種テクノロジーの導入など、実証事例を通じて、働き手不足や地域インフラの課題にどう向き合っているかを紹介していただける。医療・行政・教育分野への展開も視野に入れ、地域を支える新しい店舗のかたちを探るといふ。

## 15:30~16:30

### 「@cosme」の旗艦店から見える、 これからの顧客体験とリアル店舗の役割



加藤 涼太氏  
株式会社アイスタイルリテール  
店舗カンパニー  
OSAKA事業部 部長

アイスタイルリテール加藤涼太氏の講演。

ユーザーを取り巻く環境やリアル店舗に求められることの変化などに触れながら、これからの顧客体験と小売店舗の役割を考察してもらう。@cosme OSAKA/TOKYO/NAGOYAの実例を紹介し、リアルとデジタルを融合させた「顧客体験」と、それを実現しているビジネスモデルについても解説される。

## 17:00~18:00



見逃さない  
2日間でありマウス!

## NEXTセミナー 2025年12月12日(金)

### 気象データを活用した戦略的マーケティングと2年先気象予測とは ～大きく変わり続ける気象をビジネスの味方に～



古賀 江美子 氏  
一般財団法人日本気象協会  
防災・気象DX本部 気象デジタルビジネス課  
マーケティングDXG クループリーダー

日本気象協会 古賀江美子氏の講演。  
マーケティング活動と気象、この取り合わせは面白い。人の行動は気象によって変化する。気候変動や異常気象、季節の動きの変化が、ビジネスにどれ程影響を与えるのか、定量的に把握して戦略を練ることが大切と語る。メーカーやアパレル企業などの事例からの気象をビジネスの味方につけていくヒント、さらには来夏の予測概要も聞けるようだ。

11:00～12:00

### JPM The Planner の“人の動かし方” ～トッププランナーたちが語り合うトークセッション～



藤井一成 氏  
株式会社ハッピーアワーズ博覧会  
代表取締役社長/エグゼクティブクリエイティブ  
ディレクター 第1回JPM The Planner2018受賞者



市川 晴華 氏  
CHOCOLATE Inc. プランナー、クリエイティブ  
ディレクター 第5回JPM The Planner2022受賞者



関谷アネーロ拓巳 氏  
ECD 地球中心デザイン研究所  
Activation Director  
第7回JPM The Planner2024受賞者

歴代の「JPM The Planner」受賞者である藤井一成氏、市川晴華氏、関谷“アネーロ”拓巳氏によるトークセッション。

人を動かす秘技はあるのか、技術革新で何が変わるのか、そして未来に向けて考えていることなども話してもらえるという。トッププランナーたちは、何を考え、どうやってプランニングしているのか、どんな話に発展するのだろうか。

14:00～15:00

### 日本らしさと、パッケージデザインの潮流 パッケージから拡がる体験価値



信藤 洋二 氏  
資生堂クリエイティブ株式会社  
シニア・クリエイティブディレクター  
公益社団法人日本パッケージデザイン協会 理事長

資生堂クリエイティブの信藤洋二氏による講演。信藤氏は、日本パッケージデザイン協会の理事長でもある。  
日本パッケージデザイン大賞の受賞作を例に、持続可能な社会に求められる、「心」にとどくパッケージデザインの可能性や、パッケージを中心に体験価値を拡げる取り組み事例が紹介される。

12:30～13:30

### ブランドを強くするクリエイティブとは? ～キュキュット、アタック、ロリエから紐解く～



養部 敏彦 氏  
花王株式会社 作成センター  
第1ブランドクリエイティブ部  
第1ブランドクリエイティブ部長

花王の養部敏彦氏の講演。  
キュキュット、アタック、ロリエについての、クリエイティブ視点での広告コミュニケーション事例が紹介されるそうだ。「中長期施策と短期施策」、「一貫性と一過性」、「ブランドを育成する思考」などについて、3ブランドから紐解かれる共通項に迫るとのことだ。

15:30～16:30

### 以下の点をご注意ください。

- 各講演内容については、変更になる場合がある。
- セミナーは有料。1講演:¥5,000-(税込・税10%)
- 事前申込が必要。
- 申込多数の場合は、締め切ることがある。
- NEXTセミナーの各種聴講券では、JPM SHOW2025の展示フロアへの入場はできない。



注意点が  
ありマウス!

申し込みは  
こちらから →



## 進化ポイント2

### CXエリア、DXエリア、PACエリア 会場:4階 展示室

#### リニューアル&新設される3つの展示エリア

昨年まで、個別の企業が出展し、自社の製品やサービスを参加者に紹介する場合は、販促見本市のみであった。今年からは、分野別に3つに細分化し、より役立つ情報を来場者に届けられるように設定された。現業に役立つ最先端のプロモーションツールやサービスに触れる機会となると思われる。

#### CX エリア



昨年までの「販促見本市」が「CXエリア」という名称になるそうだ。顧客体験(CX:Customer Experience/カスタマーエクスペリエンス)を掲げたこのエリアでどんな展示が見られるのだろうか。

このエリアには6社が出展する。出店企業が予定している展示内容とみると、様々な販促ディスプレイや什器、プロモーションツールが紹介されるようだ。音声を使ったツールや色々なツールに付加できるアプリ不要のARツール、素材の特性を活かした什器などの出品が予定されている。また、店頭での調査や分析による販促効果や、リアルとデジタルの融合を謳う展示もあるようだ。

販促見本市が  
変わりマウス!



#### DX エリア



「DX領域、リテールメディア分野に参画する各社と連携し、ブランディングや商品プロモーションの世界観を来場者に訴求すべく、出展企業の製品・サービスに関する展示発表を行える場」とのこと。最新のデジタル技術を駆使したプロモーションツールやサービスに特化したゾーンだという。

10社が出展を予定しており、デジタルやAIを活用した様々なソリューション提案に触れることが出来そうだ。実店舗とECサイトなどのデジタル店舗を融合させる「OMO(Online Merges Offline)」や顧客を店舗誘導する「MEO(Map Engine Optimization)」、AIによるデータ解析ソリューション、バーチャル対応による非接触型のインタラクティブ販促システム、自走する棚などの提案が行われるようだ。多くのブースでデモンストレーションが予定されており、最新技術を来場者自身が体験できそうだ。

最新技術に  
触れることが  
出来そうで  
ありマウス



#### PAC エリア



公益社団法人日本パッケージデザイン協会(JPDA)と連携し、パッケージデザインから広がるブランディングや商品プロモーションの世界観を来場者に紹介する、新設の「PACエリア」。

「日本パッケージデザイン大賞」のアーカイブ展示が予定されている。日本パッケージデザイン大賞は、1985年から隔年で実施されており、パッケージ作品のデザイン性や創造性を競うコンペティション。約1,000点もの応募があると聞く。

また、JPDA加盟社も出店し、作品展示が行われる。

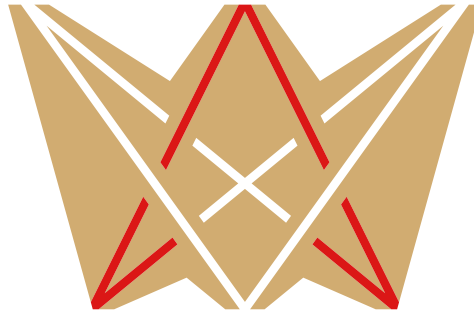
関連団体とも  
つながりマウス



# 進化ポイント3

## 日本プロモーション・マーケティングアワード2025

(略称:JPMアワード)



# JPM AWARDS

JAPAN  
PROMOTIONAL  
MARKETING

## クリエイティブと プロモーションプランニングの 2大アワードを一本化

昨年までの「JPMインスタマーケティングショー&アワード」と「JPMプロモーション・マーケティングアワード」の2アワードが、今年から「日本プロモーション・マーケティングアワード」として一本化された。JPMアワードの傘の下に設置された「インスタマーケティング部門」にエントリーした全作品と「プロモーションプランニング部門」の優秀企画の展示が行われる。

ちなみにJPMアワードの新ロゴデザインは、「インスタマーケティング部門」と「プロモーションプランニング部門」それぞれで、多様な視点や角度から評価し、受賞作品や企画を選出している点を、重なり合うスポットライトのモチーフで表現している。さらに、ロゴ全体のフォルムは、栄誉の象徴である王冠をイメージしてデザインされている。



# 日本プロモーション・マーケティングアワード2025

(略称:JPMアワード)



## インスタマーケティング部門 会場：4階 展示室

わが国のプロモーション業界で唯一かつ最大のPOP広告のコンテスト「JPMアワード～インスタマーケティング部門～」は、前身のPOPクリエイティブアワードが1971年にスタートしてから、今年で54回目を迎える。

現物で学べる  
チャンスで  
ありマウス。



今年は、エントリーカテゴリーの統合が行われ、全29のカテゴリーに400に迫る作品の応募があった。製造個数が少ない作品を対象とした「ミニマム・ロット」部門もある。

全体の最優秀作品には「経済産業大臣賞」が、各エントリー部門の優秀作品には「金賞」、「銀賞」が授与される。

エントリーされた全作品が会場内に展示されるため、来場者は実際の業務で担当している業種の他社エントリー作品を見比べることが出来る場として活用できるだろう。



## プロモーションプランニング部門 会場：4階 第1会議室

今年23回目を迎えた日本を代表するプロモーション企画コンテスト「JPMアワード～プロモーションプランニング部門～」。

「SP活動の役割が、確実な販売成果の達成にあり、そのためには『的確な戦略とユニークな実行計画の“結合”』こそが、重要な成功条件」との考えから、エントリー企画は「課題／目標」「戦略ポイント」「具体的な実施内容」「ビジネス成果」の4つのポイントから厳正に審査される。

今年は、6カテゴリーに93企画の応募があった。昨年の応募実績の73企画から大幅に増加し、注目の高まりが感じられる。最高賞は、「グランプリ 経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞」。各カテゴリーの優秀企画には「金賞」、「銀賞」が授与される。また、今回から新たに「プロモーション・マーケター奨励賞」も設置された。今回のJPMショーでは、優秀企画の概要がパネル展示される。最先端のプロモーションに触れることで、企画が生まれた環境や意図、プランナーの思考を知ることが出来る絶好の機会だ。

プランニングの  
背景が覗ける機会で  
ありマウス。



## 進化ポイント4



Young  
Challenge

### JPM次世代チャレンジコンテスト 2025

次世代マーケティング・チャレンジコンテスト / 次世代クリエイティブ・チャレンジコンテスト

会場：4階 第2会議室 & 展示室

実施は12月11日(木)のみ

## プロモーション・ビジネスの次世代を担う若者たちが一堂に会して知恵とアイデアを競うコンテスト

マーケティング部門の「次世代マーケティング・チャレンジコンテスト」(日本プロモーション・マーケティング学会主催)とクリエイティブ部門の「次世代クリエイティブ・チャレンジコンテスト」(日本プロモーション・マーケティング協会主催)が開催される。JPMショーの場において、それぞれのコンテストのファイナリストたちによるプレゼンテーションが行われ、最終的な受賞企画及び作品が決定する。

発表は、展示室(PRコミュニケーションエリア オープンステージ)で行われ、ファイナリストたちを囲む懇親会も予定されている。



Young  
Challenge

日本プロモーション・マーケティング学会主催

### 次世代マーケティング・チャレンジコンテスト 2025

特別協賛社(江崎グリコ)課題と自由課題のどちらか一方を選択し、具体的なマーケティングプランを策定する。一般の部、学生の部に分かれて競う。特別協賛社課題は、「一般流通における新しいカレー売場の創出」。自由課題は、「次世代のマーケティング展開やプロモーション産業の活性化にチャレンジするテーマ」。

11月5日に1次審査会が開かれ、審査員の活発な意見交換の末、各部門6企画がファイナリストに選出された。ファイナリストとなった企画の提案者またはグループは、JPMショーでプレゼンテーションを行う。その中から「ベストチャレンジ賞」(一般の部、学生の部各1企画)、「特別協賛社賞」(一般の部、学生の部各1企画)が選ばれる。



Young  
Challenge

日本プロモーション・マーケティング協会主催

### 次世代クリエイティブ・チャレンジコンテスト 2025

課題商品の「ディスプレイまたはプロモーション効果のある商品パッケージ・限定パッケージ」をデザインする「カテゴリー1: インスタクリエイティブ」と、課題商品の「イベント性や話題性を重視した期間限定のプロモーション&販売スポット」を企画・デザインする「カテゴリー2: ポップアップストア」がある。課題商品は、特別協賛社(江崎グリコ)のカレー「ZEPPIIN」。

両カテゴリーとも全国各地からアイデア溢れる作品が寄せられた。それぞれから3~4作品の提案者またはグループがファイナリストとしてプレゼンテーションに臨む。それらを「優秀賞」とし、その中から「最優秀賞」(各カテゴリー1作品)が、さらに応募全体から「特別協賛社賞」(1作品)が選ばれる。

## プレゼンテーションを観よう。

ファイナリストによるプレゼンテーションに、JPMショーの来場者も参加できる。与えられた課題に対して、次世代を担う若手は、どんな答えを出したのか。

「次世代マーケティング・チャレンジコンテスト」のファイナリストは、パワーポイントを使って10分程度のプレゼンテーションを行う。

「次世代クリエイティブ・チャレンジコンテスト」のファイナリストも、プレゼンテーションを行う。また、JPMショーの会場では、作品のパネルまたは現物も見ることが出来る。

若手の知恵と  
発想に触れる  
機会  
ありマウス



### JPM次世代チャレンジコンテスト 2025 プレゼンテーション

日時：12月11日(木)

10:30～13:00 ※時間変更の場合あり

「次世代マーケティング・チャレンジコンテスト」プレゼンテーション

14:00～16:00 ※時間変更の場合あり

「次世代クリエイティブ・チャレンジコンテスト」プレゼンテーション

会場：4階 第2会議室

## ファイナリストと語ろう。

「次世代マーケティング・チャレンジコンテスト」、「次世代クリエイティブ・チャレンジコンテスト」の受賞企画及び作品の発表と贈賞セレモニーは、JPMショー会場で行われる。また、引き続き懇親会も予定されている。JPMショーの来場者も参加できる。ファイナリストや審査員と直接触れ合い、ラフな雰囲気の中かで親睦できるそうだ。

若手とつながる  
チャンスで  
ありマウス



### JPM次世代チャレンジコンテスト 2025 発表&懇親会

日時：12月11日(木)

17:30～19:00 ※時間変更の場合あり

会場：4階 展示室 (PRコミュニケーションエリア オープンステージ)

※展示室への入場には、JPMショーの「入場チケット」が必要

## 企業PRタイムも開催。

次世代チャレンジコンテストの懇親会が行われる展示室 (PRコミュニケーションエリア オープンステージ) では、会期中の2日間に渡りCXエリアやDXエリアに出展する企業のPRタイムも予定されている。参加企業やタイムスケジュールは、決まり次第JPMのホームページに掲載される予定だ。

# JPM PROMOTIONAL MARKETING SHOW2025



## 今年も、作品集を販売

「第54回 日本プロモーション・マーケティングショー 2025 作品集」が、JPMショー会場内で販売される。掲載内容には以下が予定されている。

- ・「JPMアワード」インスタマーケティング部門の全エントリー作品
- ・「JPMアワード」プロモーションプランニング部門の受賞企画一覧
- ・「JPM次世代チャレンジコンテスト」マーケティング部門のファイナリスト企画&クリエイティブ部門の最終ノミネート作品・受賞作品
- ・「CXエリア」「DXエリア」「PACエリア」出展会社一覧
- ・JPM協会会員一覧

## JPMショー入場チケット&NEXTセミナーの 事前申込(オンライン)始まる

JPMショーの入場チケットとNEXTセミナーの事前申込が始まった。入場チケットは、1日券(12月11日券と12月12日券)。当日券は3,500円(税込)だが、2,500円(税込)で入手できる。NEXTセミナーに関しては、割引は無いが、残席がない限り当日券は発売されない。クレジットカードで決済ができる。

販売期間:2025年11月4日(火)~12月10日(水)

事前申込はこちらから→ <https://jpm-inc.jp/exhibition/registration/>

## JPMショーの情報を「X」で発信

JPM協会の公式Xでは、JPMショーの様々な情報も発信していきます。フォローすれば確実に受け取ることが出来る。

公式Xはこちらから



JPM Network 2025年 vol.134

発行人 / 沼野芳樹 JPM 広報委員会 / 田中徹也 発行所 / 一般社団法人 日本プロモーション・マーケティング協会  
〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館 7F HP <https://jpm-inc.jp>